

これまでの区政会議における主な意見

資料 2

【防犯・防災部会】

NO	項目	主な意見	対 応
1	防犯一斉行動について	マンネリ化が課題になっており、まとめの会など工夫が必要。警察への参加働きかけをしてほしい。	取組みの中心となる防犯推進委員との会議を11月9日に開催し、各地域の取組み状況など情報交換も兼ねて、今後の活動について検討を行う。(会議には鶴見警察署にも参加要請を行う)
2	街頭犯罪抑止効果を狙った取組みについて	防犯カメラの設置の際につける「防犯カメラ作動中」のプレートについて、1枚より複数枚つけることで、抑止効果があがると思うので、複数枚設置を。	複数枚の設置を希望する地域と取り付け場所を調整し、設置する。
3		のぼりや横断幕などを活用し、区をあげて取組んでいることをアピールしてはどうか	区役所正面前の照明柱を利用したバナーの掲出など、効果的なアピール方法を検討する。
4	交通マナーの啓発・研修について	高齢者・園児に対し取組んでいるが、現役世代へのアプローチがない	スケアード・ストレート方式の交通安全教室を安全・安心フェスタで実施することで、幅広い世代に対し、啓発を行った。今後とも、警察署と連携し、交通マナーの効果的な啓発に取り組んでいく。

NO	項目	主な意見	対 応
5	放置自転車対策について	撤去や撤去後の自転車の管理（返還料の徴収）、引取りがない自転車でのレンタサイクル事業など、地域の取り組みとして解決することはできないか？	いただいたご意見は、放置自転車に関する業務を所管する建設局にも情報提供し、今後の施策の参考とさせていただきたい。
6	自転車マナーへの取り組みについて	ダメなことだけ伝えるのではなく、サイクルロードの整備や、自転車で買い物しやすいまちづくりなど、自転車の利点をアピールしたり、マナーのいい人へのマナーアップカードなど、発想の転換が必要では	いただいたご意見は警察署、建設局等関係機関にも情報提供し、今後の施策の参考とさせていただきたい。
7	つるみんピックについて	消防署と連携し、競技種目を洗練化・定型化させ、地域防災リーダーだけでなく、地域の訓練でも活用できるようすそ野を広げてほしい	今後とも消防署と連携し、一般参加の検討など開催内容を工夫してまいりたい。
8	防災用トランシーバーの配備について	地域防災リーダーの情報伝達手段として、精度のよい防災用トランシーバーの配備を	基地局の登録手続きや維持・管理について、地域にご負担をかけるが、必要な資機材であると考えるので、検討を進める。

NO	項目	主な意見	対 応
9	区としての防災の取組みについて	地域が防災の取組みを行う際に、講師の紹介など区として情報提供できるようにしてほしい	防災に適した講師に関する情報収集に努め、地域に提供してまいりたい。
10		地域でなかなかできない、三師会や福祉事業所との連携を進めてほしい	医師会や社会福祉施設連絡会とは、以前より連携し訓練や研修を行っているが、より実践的な連携が行えるよう取組んでいく。
11	広報つるみを活用した啓発活動について	広報つるみに、安全・安心掲示板的なページをつくり、1年間を通じて区役所、警察、消防と協力し、時期にあった啓発活動を行ってみては	警察署・消防署と連携し、広報紙に毎号 区の安全・安心に関するコーナーを設け、情報を発信する。